

静岡市北部（井川地区）

地形概況

赤石山地とその前山が安倍川と大井川の流域に広がる。隆起運動と下刻作用で峡谷と曲流を形成し、急傾斜に比高の大きい谷壁斜面をもち、高位平坦面も分布する。大谷崩れをはじめ斜面崩壊も多い。谷底運搬堆積物が多く土石流の危険度は高い。

地質概況

赤石山地とその前山は北部から赤石層群・白根層群の赤色チャート・砂岩・泥岩と寸又川層群の地層が帯状に分布し、破碎帯や風化作用の影響が大きい。安倍川流域は砂岩・頁岩・火砕岩などからなる瀬戸川層群の山地で、大谷崩れをはじめ崩壊地も多い。

気象概況

（静岡市北部）年平均気温は 10.8℃、年降水量が 3,287mm(井川)。標高が高くなるにつれて気温は次第に低下する。山間の盆地や窪地は、気温の年較差が大きくなる。年降水量は中部山岳地帯の南斜面に位置するため、県内の平均よりもかなり多い。

災害事例 地震

- 1935年7月11日（昭和10年）静岡地震 M=6.4
有度山の周囲、特に有度山塊西縁および西南端付近がひどかった。また、有度山塊の南部で崖崩れが多かった。家屋全壊率が10%を越えた地区は、高松31.8%、西大谷24.3%、東大谷12.4%、池田14.9%、家屋が滑り動いたものが多かった。井戸水の水位の変化が認められ、震央付近で地鳴りが聞こえた。しかし当地域には、この地震の影響はほとんどなかった。
- 1917年5月18日（大正6年）M=6.3
局地的な強震で全体で死者2人(防火壁の倒壊による)負傷者6人、地裂、煙突の被害があった。静岡市ではとくに煉瓦塀・煉瓦煙突の被害が多かった。しかし当地域には、この地震の影響はほとんどなかった。
- 1854年12月23日（安政元年）安政東海地震 M=8.4
全県下に被害のあった大地震であるが、当地では被害の記録が見当たらない。しかし梅ヶ島で山崩れ、地盤崩壊などで住居の被害が数十%に及んでいるので、この地域でもその種の被害がかなりあったものと思われる。

災害事例 台風

- 1982年8月2日（昭和57年）台風10号
全県下に被害あり、山間部を中心に日雨量400mm程度の降雨を記録した。静岡市山間部では橋などが流失し、道路が寸断、数日間にわたり井川地区が孤立する被害があった。
- 1979年10月19日（昭和54年）台風20号
全県下で被害を生じた。井川で19日の最大時間雨量64mm、総雨量は358mmであった。

- 1922年8月25日（大正11年）
全県下特に中・東部で被害大。大川の日雨量は280mmに達した。静岡署管内での被害は、死者1人、負傷者1人、全壊1戸、半壊8戸、流失2戸、床上浸水343戸、床下浸水4,031戸、被害田畑210ha、決壊道路6,417m、橋868m、堤防1,588m、山崩28箇所であった。
- 1920年8月4日（大正9年）
県中部で大雨。井川の日雨量588mm。
- 1897年9月9日（明治30年）
死傷者8人、家屋全壊50戸。

災害事例 豪雨

- 1977年8月17日（昭和52年）
山間部で雨量が多く、井川で日雨量328mmに達した。床下浸水・崖崩れ・道路損壊などの被害があったが、雨量の割に軽微であった。
- 1973年8月1日（昭和48年）
井川日雨量337mm。
- 1912年9月22日～23（大正元年）
大井川上流で豪雨。井川で雨量603mmを計測。
- 1907年7月13日（明治40年）
県の東・中部で大雨。井川で日雨量361mm。
- 1906年7月15日（明治39年）
大井川上流14～15日豪雨。井川では日雨量402mm。

災害事例 旱魃

- 1926（大正15年）
県下全般に旱魃で、農作物に大被害が生じた。井川で7月、8月の雨量は、132mm、68mmであり、それぞれ平年より299mm、365mmも少なかった。